

えひめ薬学生NEWS

薬害について学ぶ 奨学生会議開催

6月24日(金)薬学生奨学生会議を開催しました。薬学奨学生3名が参加し、新居浜協立病院の薬剤科長・石井亮さんを講師に『薬害』について学習しました。

過去に起きた薬害について、自分がなぜ薬害に本気で取り組むようになったのかなど熱心に語っていただきました。主には、“子宮頸がんワクチン”の被害について時間を割いて学習をしました。重篤な副作用の出現率はおよそ10万分の4。主に歩行障害や記憶障害といった副作用が出現しています。中には将来、薬剤師になりたかったという子も。突然、字が読めなくなり、将来の夢を諦めた子もいるとのことなどを知り、衝撃を受けました。薬害がなくなるように、薬害が起こっても早い対処ができるように訴えていくことも、民医連で働く薬剤師にできることです。

くすりにには、2面性があります。病気の治療に必要であるという1面と、製薬企業に対しては、もうけの手段であるという1面です。この2面性が崩れ、もうけを優先しようとしたとき、薬害は起こります。

薬害には、産(製薬企業)・官(国)・学(大学等)の利益の癒着構造があり、副作用情報は隠され、被害は軽視される傾向があります。しかし、民医連の薬剤師には、被害者の話に耳を傾け、問題を明らかにする力があります。

薬害根絶デーは毎年8月24日です。23日~24日に、集会や行動が予定されています。是非一緒に薬害根絶デーに参加しませんか？



薬害根絶デーとは？

当時の厚生省が薬害エイズを反省し、薬害を繰り返さないことを誓い、『誓いの碑』を建てた1999年8月24日以来、未だに新たな薬害が生まれ、適切な救済を待つ被害者が大勢います。

薬害根絶デーは、薬害の根絶と迅速かつ的確な救済を願い、被害者と私たち市民がひとつになって訴えていく日となっています。



今後の予定

8月23・24日(火・水) 薬害根絶デー・つどい 東京

8月27・28日(土・日) えひめ医系学生のつどい



薬剤師のたまご
の成長日記
ブログも
チェックしてね♪

★長期休暇中の実習を受け入れています！
お気軽にお問い合わせください(^o^)/

